

フリースタイルな

仏教の未来に
挑戦する情報誌!!

僧侶たちのフリースタイル

特集

アナログレコードと お葬式

伊豆 正蓮寺住職
渡邊元浄



マンガ お坊さん日和。第14話「さよなら!? みつあきくん(中編)」
しりとり法話バトル 第9回「リミット」
8・9月の仏教イベント情報

www.freemonk.net

36



36

文／渡邊元浄
text: Genjo Watanabe

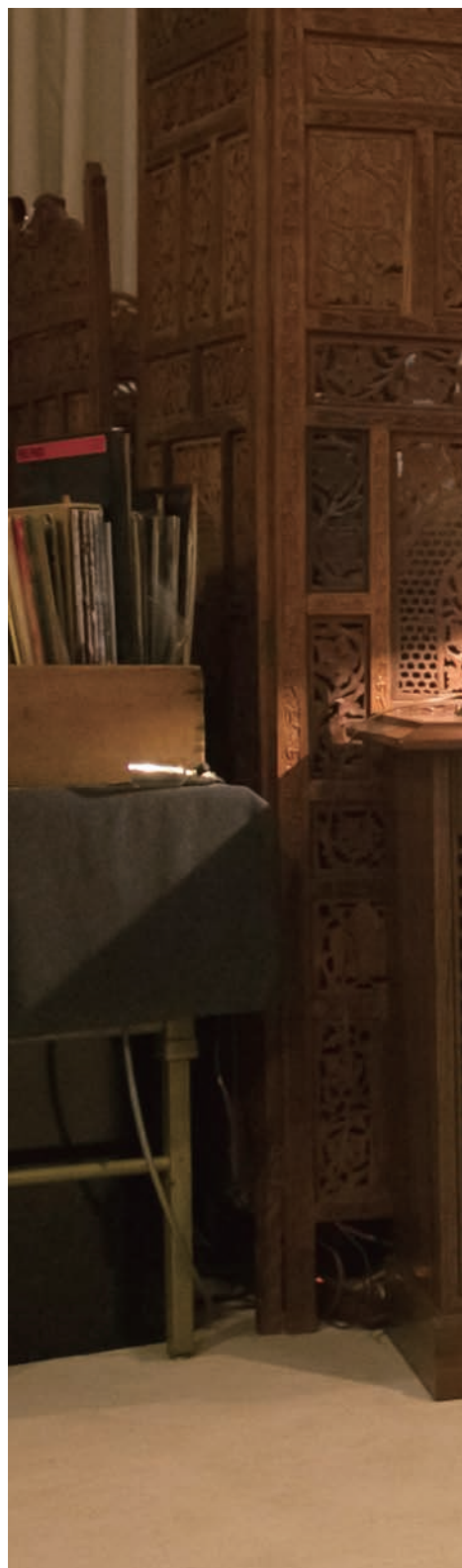
特集 アナログレコードとお葬式

～NO MUSIC, NO LIFE. NO 四苦八苦, NO 礼拝.～

仏教＝お葬式ってイメージしていませんか？

そもそもお葬式という吊いの現場で、僧侶は何を想っているのか。

お寺に寄進された遺品のステレオやレコードをご縁に、新しいお葬式の形を模索する音楽好きの住職が気づいた「レコードと仏教儀式」の共通点を解き明かします。



本堂にレコード

正蓮寺の本堂の下座には、東京芝浦電気（現在の東芝）

オーレックス、セパレート型ステレオレコードプレーヤーが鎮座する。昨年、お檀家さんから思い出のレコードとともに寄進されたものだ。

販売から40年が過ぎ、当時の針のまま。メンテナンス無しで何の支障もなく、ステレオの周辺は、参詣者が足を止める人気の場所。

若い世代には新鮮に映り、古き世代が郷愁を味わうスペースとなつて、寺の行事などで私は何かにつけてレコードを廻すようになった。

80年代以降デジタル音源の波にのまれ、風前の灯だったアナログレコードだが、独特の温かみある音質に今改めて注目が集まっている。

タンスの肥やしになつてから30年近く経ち、じわりと回転数を上げて人気が高まっているそうだ。

年齢層や音楽の趣味を想像し、ほどよいレコードをかける。そうしてアナログな物に触れると、寄進していただいたご遺族と過ごした甲斐の日々を思い出す。

「儀式」はレコーディング

人類最大の発明は「儀式」

であるとも言われる。代表的な儀式は、僧侶や神主、牧師が主導するお葬式や結婚式だろう。宗教的もしくは神秘的な環境で、所作と所作の「間」を大切にし、悲哀や歓喜が主体的に心に刻まれる。

他にも、お宮参り、初節句、七五三、入学式、卒業

式、成人式などの通過儀礼や式典は、単に成長の祝賀だけでなく、共同体としての約束や誓いを共有するための儀式とも言える。

私たちは儀式や式典に集い、つながりを確かめ、喜びや悲しみを味わう。年月が経つてもその思い出を微笑み、悲しめるのは、その儀式や式典が真剣で尊いものだったからだろう。

「残す」と「遺す」

世間では「記録より記憶」

という美辞もあるが、人生の岐路、そして悲喜を記録する「儀式」は、私たちの記憶にさらなる深みを与えるのだろう。

人間は忘れる生き物だが、蓄積する記憶と記録の上に生きる存在でもある。複数

名称として「間」という文字を使う生き物は人だけであり、犬間、猫間と言われない。儀式の「間」に、何か人知を超えた不思議な重みを感じているからだろうか。

儀式はレコーディングと言つてもいい。残すというより、より尊く遺したいという気持ちで儀式を選び、私たちの悲喜を心のレコードに記録させる。

アナログレコードの ような甲斐の日々

僧侶はお葬式という儀式を頼まれようと頼まれまいと、毎日誰かを甲斐している。

日々住職は、仏前に座し、明かりを灯し香を焚き、お念仏を食べて生きている。宗旨や地域によつて異なるが、例えば命終みよじゆうからの儀

式は、枕経・通夜・葬儀・灰葬・初七日からの七日参り・初命日・四十九日、一周忌、三回忌、七回忌、十三回忌、十七回忌、(中略)五十回忌。千支の十二年や、世紀(100年)を基準にしているが、儒家の三魂七魄さんこんしちぱくの信仰や、宗教が混淆した中国仏教の思想が影響している。

いずれにしても一座の法要儀式(EPシングル盤)は、「亡き人を哀悼するA面」「仏法聴聞のB面」の両側面によつて人々に生きる力を与えてきた。

広義で見れば、命終から五十回忌までの甲斐の年月は、複数の法要や儀式で構成される33回転のLP盤、楽曲のアルバムである。CDなどのデジタル音源では曲と曲の間は無音だが、レコードではチリチリと針が盤を撫でる音がする。このチリ音と呼ばれるノイズを愛好家は親しみ、音源に温度を感じる。ご遺族の心痛を思いやると、ざわつく心のチリ音が聞こえてくる。しかしそれでこそ温かさは生まれる。

ここで、私が以前アナログレコードのような温かさを感じた甲斐の日々を振り返る。

一枚目…枕経

A面「哀悼」

B面「愛別離苦の共有」

「お葬式をお願いしたいのですが……」

電話で少々の段取りを決めた後、とにかく法衣で自宅へ枕経に向かった。

ご遺族に導かれ、ご遺体の横に座す。ご遺族が集まり、枕経の流れを伝えて照明を落とし、ロウソクの灯だけが室内を包む午後6時。

読経が始まり、帰敬式、お剃刀の儀、阿弥陀経、念仏、回向文を読誦した後、

ご遺族は順番に私のお数珠を手にとって、目の前の亡き人への想いや、今の心境を語る。「ありがとう」も「ごめんさい」もあった。大切な沈黙の中の愛別離苦の分かち合いだった。

全員が数分間ずつ握り締め、私の手元に戻ってきたお数珠の熱と、そこにこぼれた嗚咽と涙を今も私は忘れられない。これからもそのご家族と関わっていきたいと思える出会いだっただけ。

二枚目…通夜

A面「最後の夜」

B面「聞法の座」

お通夜は昔、故人の成仏を祈ることではなく、故人の現身での最後の夜を共に過ごすために集まった親戚などが、ご遺体を囲み思い出話を語り合うことであつた。

仏教における通夜は、お釈迦様の入滅を悲しんだ弟子たちが、あくる日茶毘に付されるお釈迦様のご遺体を守り、生涯をかけてお話しされたお説法を、夜を通してお互いに聞き合い深めたという故事による。

お寺の本堂での弔い

会場は葬祭ホールではなくお寺の本堂。アウェイではなく住職とお檀家さんのホームである。ホームでアナログな葬儀の支度をしていくと、お檀家さんと共有する時間が増え、心と声が伝わってくる。

喪主が事前に運んだ三つの段ボール箱には、故人が生前描いた絵手紙、趣味のフラダンスの衣装、ステーション写真。並べるのに手はかかったが、さながら華やかな個展のよう。

お通夜当日、法要30分前。続々と本堂に会葬者が集まる。枕経で儀式を営み、あ



る程度覚悟が決まったご遺族とは対照的に、境内の会葬者はいまだにどこか訃報を疑っているようである。

会場に掲示された故人の名前や遺影を見て、胸の痛みが全身に広がっているようだ。ご遺族と会葬者には、寺が作成した通夜の冊子が配られる。会葬者は、寺の旅行「ミュージカル ブッダ」

に参加した故人と私が一緒に写っている笑顔の写真を偲んだり、法名の由来を味

わって開式を待っている。

一般的に遺族席は祭壇に対して横向きに設置されていることが多いが、会葬者はご遺族の横顔を見て同情する。しかしあるご遺族は、こうした葬儀を終えたあと、「会葬者の視線が刺さり、落ち着いて見送れなかった」と振り返っておられた。

開式15分前。正蓮寺の儀式は、遺族親族はご遺体に向かつて真向いに着席。ご遺族にとつて儀式読経中は誰と

も目を合わせる必要がなく、静かに亡き人への想いを振り返り、心の揺れ（ノイズ）が許される時間である。

針としての導師

導師入堂。私は一步を一針にして、参詣者と仏様を縫い合わせるように本堂内を歩む。通夜法要前のご案内をし、開式前に住職主導で立ち上がったご遺族が、座席の会葬者へと深く一度だけ立礼される。

レコードに落とす針のように、私は導師席へ着座する。と同時に、大切な人を失った悲しみのレコードの溝を針が無で、弔いというレーベルの中心にじわりと近づいていく。

読経が始まり、私は経本の節符（節回しの符号）をひとつひとつ撫で、いただいた。お勤めが終わわり、法話。ご遺族はもちろんだが、会葬者のほとんどは法話を聞いていられる。亡き人と会葬者は、哀悼と仏法聴聞で縫い合わされ、通夜法要は括られた。

三枚目…葬儀

A面「最後の別れ」

B面「俱会一处」

「泣き声や愚痴が許されないノイズキャンセル社会の中では、レコードのような許しや愛、そして慈悲は生まれない」



一夜明けて、葬儀。ご遺体を葬る直前「生者必滅 会者定離」の理を、亡き人が私たちに身をもって教えてくださる機会である。

多数（ご遺族・会葬者）が一人（故人）と別れるのではなく、一人が多数と別れなければならぬ。仏教は、一人の命は無になるのではなく、また多数の御仏となつてお浄土で会える心境を説く。

亡き人のご遺骨と対面する時、多くの方はこう言う。「あきらめがついた」と。あきらめるとはギブアップではなく「明見る」。あきらかに見定めることを言う。どこか遠くで彷徨う霊にしない。もう私の心からどこにも行かない、定まった仏様と見るのである。

俱会一処。俱に一つの処で会う。私たちがご遺族にはまだ家庭や仕事、子育てなどの役割があつてすぐにはできないけれど、お浄土での再会を誓う宣誓の儀式が、葬儀である。

レコードはゆるしてくれる

弔いは、葬儀が終わった今も続いている。そもそも誰しもがご遺族であるし、毎日が弔いの日々であると思う。

儀式によつて心に深く刻まれ、レコーディングされた想いは事あるごとに甦る。知人の弔いに参列した時に自身が直面した儀式を思い出したり、数字の列や車のナンバー、テレビ画面に写る

時計の文字列は亡き人の命日や誕生日に読めて、去来する想いにその都度胸が苦しくなることもある。葬儀を行った季節、またその天気を「その日」に重ねて憂いてしまうことは自然なことである。

私もお檀家さんの儀式を行つてみると、ふと父への想いに重なつてしまい、心が硬直してしまうことがある。ギシギシと心と体を動かして執行した、いくつかの儀式を覚えていた。

デジタル音源にはノイズ（邪魔な音）はほとんどない。ノイズを許さないのがデジタル音源とも言えようか。逆にアナログレコードはノイズを許し、仏教は愚痴や煩惱、戸惑いや躊躇いばかりの私を許してくれるから、温かい。

仏の御手にいだかれて

廻っている間に降り積もる塵の数ほどのチリ音と、煩惱の埃でブツブツと愚痴をこぼしながら、私たちは泣いたり笑ったりしてレコードの溝（groove）を歩んでいる。

いつこの命が終わるかは分からないが、いつ終わってもそこが途中ということはない。自分や大切な人の回転数が分

からないから、自分の思い通りになつていないだけであり、阿弥陀様からすれば、一枚のレコードに収録された曲とノイズをすべて聞き拾いきつた、予定通りの結果である。

アームレストで休むピックアップをそつと摘む手の形は、阿弥陀如来の印の形によく似ている。ターンテーブルの命が自動で廻り始め、針が落ちる瞬間のノイズはまるで私の誕生の産声である。

赤ん坊の頃、すべてを許してもらえた。人目も憚らず泣くことが許された。イヤだ嫌いだの愚痴が許された。しかし私たちは成長していく中で、いつしかその涙は否定され、それからその泣き声や愚痴のノイズも奪われたと思う。

物事がデジタル化され、ノイズを不要とする現代。泣き声や愚痴が許されないノイズキャンセル社会の中では、レコードのような許しや愛、そして慈悲は生まれないのではないか。

「泣いていいよ。愚痴つていいよ」と私より十ほど年上のステレオが今日も私を撫でてくれる。自分のノイズを出し、他人のノイズを拾い、アナログレコードのように温度ある人生を微笑みたい。

蓮根レココン

広いお寺の本堂で、紅茶やコーヒーと一緒にアナログレコードを楽しみませんか？ みんなが知ってるあの曲やあの曲を、真空管アンプとCDの音温度の違いを聞き比べながら、一流のオーディオメーカーが実演します。お寺の本堂でかけてみたいレコードがあれば持ち込みも可能です。就職と仲良しのオーディオマスターとの対談もあり。

平成27年9月27日（日）13:00～17:00 1,000円（軽食・資料等） 定員20名
主催／正蓮寺蓮根レココン実行委員会
その他詳細は<http://www.shourenji.or.jp> または Facebook イベント「蓮根レココン」で検索
▶伊豆の国市正蓮寺（静岡県伊豆の国市南江間930） ☎055-948-1366（正蓮寺渡邊）

渡邊元浄（わたなべげんじょう）

1980年生まれ。2001年に自死した父親の後を継ぎ、現在静岡県伊豆の国市真宗大谷派正蓮寺住職。衆生保育園・寿光幼稚園園長。共通の趣味に集まる檀家や有縁の方と、アウトドア部、インドア部などお寺独自の部活動を展開中。アナログレコードを真空管アンプで楽しむお寺のレコードコンサート「蓮根レココン」を企画している。

お坊さん 目と和。

だ。
14話
"さよなら(!?)みつあきくん
- ちゅうへん -"
まんか
みつあき ひろあき



ホンダラ教に入信した みつあきくん
しかし 結局苦しみは消えず
悩み続けていた...
大丈夫? みつあきくん!



みつあきくん! 帰ってくるニヤ!
抵抗するなら 不本意だけど
力づくでも連れ帰るニヤ!
それが君のためニヤ!

嫌だ!



でも 救われている
実感もないのに
簡単には信じられない!

救いの手を抱き
孤独に苦悩し続ける
みつあきくん...
仏教に帰る日はくるのか?

みつあきくん!

僧侶の源流をたずねる一冊

〈出家とはなにか〉

文／中平了悟(なかひら・りょうご)
僧侶(浄土真宗本願寺派 西正寺 衆徒)
龍谷大学文学部 実習助手



『出家とはなにか』
佐々木 閑：著
大蔵出版／刊 4,104円(税込)

今の「出家者」つまり、僧侶・お坊さんのイメージは多様だ。人里を離れて修行の日々に励んでいる姿、寺にこもって読経や写経の日々を過している姿を思い浮かべられる人もいるだろう。あるいは、街に出て積極的に人と関わる僧侶、または単に葬儀や儀式を営み「葬式坊主」なんて揶揄される僧侶を思い浮かべられる人もいるかもしれない。

一定のイメージを持って語ることができない現代の日本の僧侶。いずれが本当の僧侶なのだろう。僧侶とは一体どんな存在なんだろうか。本書はそういった問いに一つの視座を与えてくれる一冊である。本書では、パーリ語の「律」(僧侶としての生活の規則が記されている)文献を元に、釈尊当時からその後数百年のインドの僧侶の修行生活の実態が描き出されている。そこには、出家するための条件や儀式、日常の修行生活、社会とのつきあい方について(中には、信者からのおよぼれの作法や、お金の扱いについてまで)、詳細な実像が「律」の記述にもとづいて鮮やかに描写されている。時代の変化に応じて、「ちよつとずるい」と思うような抜け道が使われていたりもする。

その記述を通して、僧侶とはどのような存在かということについて、また僧侶と社会に暮らす人々との本質的な関係性について考えさせられることだろう。世俗と異なる価値観で生き、社会と距離を取りながらも一定の関係性を保ち続ける出家者(僧侶)たち。時代や、社会が変わっていく中でも保ち続けられるべき「僧侶」という存在の本質的なあり方について、考えさせられる一冊である。

August - September

しりとり法話バトル

第9回

お題

リミット

審査員：飯村絵理子、鳥居友依、中島まは
Judge: Eriko Imura, Tomoe Torii, Maho Nakajima

今号の勝者はこちら！

大河戸悟道(おおこうど・ごどう)
(真宗高田派 正太寺 住職)

愛知県出身。雑木林や田畑に囲まれた田舎のお寺に生まれ、大学は美術系の学校へ。気安く、親しまれる僧侶を心掛けております。

今回のお題は「リミット」 正直、お盆の僧侶はリミットぎりぎりです

生まれたばかりの赤ちゃんを称して「無限の可能性を秘めた」と言ったりします。確かにその子がこの先どのような人生を歩むのかはわかりません。しかし実は生まれ落ちた時点でいくつもの条件が定まっているのです。性別や時代、民族や地域も定められて私たちは生まれてきます。まずなによりも両親を選ぶことはできません。このように私たちはこの世に誕生した時点で既にリミット(制限)された存在なのです。

しりとり法話バトル

ウデに覚えのある僧侶たちが、毎月しりとり形式で出されるお題にのっとって法話を作り、きびしい審査によって掲載・非掲載のふるいにかけられる、フリスタ史上まれにみるサバイバルな企画。ウェブでは、残念ながら掲載に至らなかった法話と、審査員の評価を見ることができるとチェック！
www.freemonk.net

「途中」 気になる次回のお題は

さて仏教では「諦める」ということを説きます。これは決して断念したり放棄することではありません。物事を「あきらかに見る」という意味です。受け入れたいことであっても、この私に背負わされたリミットがなければ、「私は私でよかった」と本当に満足することはできません。

EVENT CALENDAR



9/2 (Wed)

東京

仏教ヨガ講座

Let's begin ヨガLife!

ヨガでこころと身体をととのえましょう!

19:00~20:30 500円 定員25名(男女不問)

講師/Yuuka(ガッツ有香・山形県誓願寺浄土宗教師)

着替え持参(ヨガマットはご用意しています)

事前申込必要 お電話、Facebook、または<http://www.bdk.or.jp>まで。

▶仏教伝道センタービル8階「和」の間 ☎03-3455-5851

9/15 (Tue)

東京

働く人のための坐禅会

仕事帰りに疲れたこころと頭の整理をしませんか?

お一人でも気軽にご参加ください。

20:00~21:30(坐禅60分 お茶会20分) 500円 定員30名(男女不問)

講師/阿純章師(天台宗)

事前申込必要 お電話、Facebook、または<http://www.bdk.or.jp>まで。

▶仏教伝道センタービル7階「縁」の間 ☎03-3455-5851

9/27 (Sun)

東京

知的仏教講座「禅を知る×書道を愉しむ」

「禅のこころ」を現代に重ね合わせながら伝える僧侶と、各メディアで活躍する気鋭の書道家による初コラボイベントを開催します。美しく豊かに生きるための心を知り、自分の心を文字に映す。そんな体験を通じて、新たな自分を見つけてみませんか?

13:00受付 13:30開始 3,500円 定員40名

講師/松原信樹氏(龍源寺住職)、鈴木猛利氏(書家)

▶仏教伝道センタービル



公益財団法人
仏教伝道協会
 BUKKYO DENDO KYOKAI

〒108-001 東京都港区芝 4-3-14

TEL 03-3455-5851 FAX 03-3798-2758 E-MAIL bdk@bdk.or.jp<http://www.bdk.or.jp> www.facebook.com/bukkyodendokyokai

JR「田町」駅 三田口(西口)より徒歩8分

都営地下鉄 三田線、都営地下鉄 浅草線「三田」駅 A9番出口より徒歩2分

8/24 (Mon)

大阪

地藏盆千日供養・護摩法要

お坊さんや修験者およそ100名が大阪ミナミに集結! かつて、お寺の集まる町だった大阪ミナミ・千日前。しかし今ではその風情はすっかり消え失せてしまいました。往事を偲び、ミナミの町の発展と商売繁盛を願って、伝統仏教の住職、修験者ら約100名が六地藏巡りと護摩法要を行います。

17:00~20:30

護摩木: 1本500円(当日17:00「相合橋」にて販売)

主催/地藏盆千日供養実行委員会

▶相合橋(大阪府大阪市中央区道頓堀川)

大阪市営地下鉄「なんば」駅、阪神・近鉄「大阪難波」駅より徒歩6分

大阪市営地下鉄「日本橋」駅より徒歩5分

☎06-6211-7819(真言宗山階派 千日山 弘昌寺)

※護摩木の事前販売: 千日山 弘昌寺(大阪市中央区千日前1-7-23)

大阪市営地下鉄「なんば」駅、または「日本橋」駅下車

なんばウォークB20出口より徒歩2分

8/15 (Sat)、9/15 (Tue)

東京

写経会

般若心経を小筆で書写していただく、オーソドックスな写経です。経本を手に持ちながらご一緒にお経をお唱えした後、硯で墨をすります。下敷きの字をなぞるので難しいことはありません。慣れてきたら、下敷きはずして書いてみましょう。間違えずに丁寧に書いていくことが大事です。心が落ち着くひとときの中で、写経を書き終えた達成感、充実感を味わってみませんか。はじめての方も、道具類を貸出しますので、ご安心して参加ください。終了後、僧侶との茶話会もご紹介します。

13:00~14:30 2,000円

申込は当日12:50までに寺務所窓口まで。

その他詳細は<http://www.rakan.or.jp>にて。

▶五百羅漢寺(東京都目黒区下目黒3-20-11)

JR「目黒」駅より徒歩12分、東急電鉄 目黒線「不動前」駅より徒歩8分

☎03-3792-6751

EVENT CALENDAR



9/12(Sat)

フリスタ主催

京都

よこ座り法話カフェ

足を少しくずして、リラックスしながら法話を聞く会です。僧侶もあなたもゆったりよこ座り。法話はフリースタイルな僧侶たちの事務所。小さな仏さまの前で短いお経をおつとめしたのち、僧侶2名がそれぞれ20分ずつ法話をいたします。そのあと同じ建物内にあるカフェに場所を移し、コーヒーやドーナツなどをいただきながら、ご一緒に話をしましょう。法話の内容について質問するもよし、日常を過ごす中での疑問や悩みを投げかけるもよし。法話と対話を通して、仏教の教えが少しでもあなたの毎日の支えになるようつとめて参ります。

15:30~17:30 1,500円(フリスタ会員は1,300円)+1オーダー

定員6名 法話/山田真悟、若林唯人

主催/フリースタイルな僧侶たち

申込は<http://www.freemonk.net/events> まで。

▶フリースタイルな僧侶たち事務所・SOLUM CAFE

(京都府京都市下京区東若松町795-2 SOLUM 1F C号室)

JR「京都」駅、京都市営地下鉄 烏丸線「京都」駅より徒歩10分

9/12(Sat)

フリスタ主催

京都

「〜」(ホニヤララ)をめぐる宗教間対話
#03「お金」

同じ一つの物事に対する見方は、宗教や世界観によって共通点があれば違う点もあります。身近な物事について、仏教とキリスト教ではどんな見方をするのでしょうか？ 第三回のテーマは「お金」です。仏教とキリスト教の研究者二人(辻村優英・波勢邦生)が簡単な話題提供をしたあと、皆さんと一緒に対話・交流をしながら「お金」について考えたいと思います(申込時にテーマに関する質問等がございましたらお知らせください)。

13:00~15:00 参加費=恩送り方式(次回に参加される方のために任意の参加費をお納めください)

定員7名 話題提供/辻村優英、波勢邦生

主催/フリースタイルな僧侶たち

申込は<http://www.freemonk.net/events> まで。

▶フリースタイルな僧侶たち事務所(京都府京都市下京区東若松町795-2 SOLUM 1F C号室)

JR「京都」駅、京都市営地下鉄 烏丸線「京都」駅より徒歩10分

9/27(Sun)

フリスタ主催

京都

アラサー僧侶とゆるーく話す会

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会です。話のテーマは、あなたの話したいこと。仕事や恋愛、家庭のことなど、普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でも結構です。もちろん、単純にお坊さんと話がしてみたいという方や、気になってることをお坊さんに質問してみたい方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。お茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか？ どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

14:00~16:30 1,000円(フリスタ会員は800円)

定員10名 主催/フリースタイルな僧侶たち

申込は<http://www.freemonk.net/events> まで。

▶京町家 さいりん館 室町二条(京都府京都市中京区冷泉町65)

京都市営地下鉄 烏丸線「烏丸御池」駅2番出口より徒歩5分

9/26(Sat)

大阪

お寺で宇宙学



真言密教は宇宙の真理を伝える仏教と言われます。その教えと、宇宙科学の比較が非常に面白く、4年前に開催して以来、評価の高かった薬師院での「お寺で宇宙学」講座が、この9月より始まります。お寺で宇宙科学の先生とお坊さんが、宇宙と密教についてお話をするのを聞いてみませんか。どなた様もご参加いただけます。

15:30~密教のお話 16:30~宇宙のお話 18:00~座談会

講師/富田晃彦(和歌山大学教育学部教授)、小野剛賢(薬師院住職)

申込、その他詳細は<http://www.yakushiin.sakura.ne.jp> まで。

▶高野山真言宗 薬師院(大阪府岸和田市宮本町28-22)

南海電気鉄道 南海本線「岸和田」駅より、徒歩10分

※なお、同日14:00~15:00に同じく薬師院にて、「阿字観瞑想教室」を開きます。よろしければ合わせてご参加ください。事前申込必要。詳しくは、高野山真言宗 薬師院 ウェブサイトまで。]



編集後記

「録音中！立ち入り禁止！」と部屋のドアに張り紙をして、北斗の拳のエンディング曲を父のテープレコーダーで録音していた私は、完成したテープを毎晩イヤホンで聴くたびに、サビ前の「ごはんだよ〜！」の母の声に抱腹絶倒。ノイズやアナログを楽しむ僕の人生は、そこが起源なのかもしれません。昨今、アーティストや音楽愛好者が、ストリーミングサービスなどによる「音楽の商品化」に拒否反応を起し始めているといいます。音楽を「楽曲データ」として入手し消化することにどこか味気なさを感じているのかもしれない。

お葬式の現場でも、大手企業が葬祭業に参入し、その場限りの僧侶を依頼して読経を頼むことも増えています。読経データのように入手され、まるで儀式が消費されてゆく懸念を覚えます。

「仏教＝お葬式」と考える人は多い。しかし、お葬式から仏教を想起する人も多い。今回はあえてフリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン様の誌面にてお葬式に始まる仏教儀式についてお伝えしました。

お寺やその境内で催事を行う縁日という言葉は「人と人が出会う場所」ではなく、「仏と私が出会う場所」。お葬式を別れと終わりにだけにせず、出遇いと始まりの縁日にしてくれる僧侶に、私は私の葬儀を執り行っていたきたいと願っています。

（第36号特集記事寄稿 渡邊元浄）

●私に大きな気付きをくださった方々●浄土真宗本願寺派正光寺住職 大島信隆様／浄土宗願生寺副住職 大河内大博様／リヴァオン代表 尾角光美様／フアンリテーター養成講座の皆様／ステレオ音進 坂井家の皆様／エントレスオーディオ 田邊耕一様

■協賛のご報告■

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。
以下に、法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

安心院(京都府八幡市 浄土宗)／安樂寺(京都府南丹市 浄土宗)／石尾山弘法寺(大阪府和泉市 真言宗)／円光寺(東京都台東区 臨濟宗妙心寺派)／延命寺(大阪府堺市堺区 浄土宗)／圓融寺(東京都目黒区 天台宗)／宜雲寺(東京都江東区 臨濟宗)／吉祥寺(山口県萩市 浄土宗)／九品寺(京都府京都市南区 浄土宗)／教安寺(福岡県福津市 浄土宗)／慶蔵院(三重県伊勢市 浄土宗)／光照院(東京都台東区 浄土宗)／光照寺(大阪府大阪市東淀川区 浄土真宗本願寺派)／光徳寺(福岡県みやま市 浄土真宗本願寺派)／光明院・田中医院(京都府京都市中京区 浄土宗西山禪林寺派)／光明寺(奈良県吉野郡 浄土真宗本願寺派)／五百羅漢寺(東京都目黒区)／金剛寺(京都府京都市東山区 浄土宗)／西明寺(兵庫県尼崎市 浄土宗)／西楽寺(京都府京都市伏見区 浄土宗)／西林寺(大阪府泉南郡 浄土宗)／浄栄寺(滋賀県東近江市 浄土宗)／正覚寺(青森県青森市 浄土宗)／浄元寺(兵庫県尼崎市 浄土真宗本願寺派)／性高院(愛知県名古屋市中千種区 浄土宗)／称讃寺(新潟県長岡市 真宗大谷派)正善寺(兵庫県伊丹市 浄土宗)／正法寺(京都府京都市東山区 時宗)／勝楽寺(東京都町田市 浄土宗)／正蓮寺(静岡県伊豆の国市 真宗大谷派)／信覚寺(福岡県朝倉郡 浄土真宗本願寺派)／新善光寺(北海道札幌市中央区 浄土宗)／瑞聖寺(東京都港区)／瑞生寺(静岡県浜松市中区 曹洞宗)／崇興寺(広島県福山市 浄土真宗本願寺派)／崇福寺(滋賀県甲賀市 浄土宗)／善願寺(滋賀県甲賀市 浄土宗)／善道寺(北海道札幌市豊平区 浄土宗)／大圓寺(東京都目黒区 天台宗)／臺鏡寺(大阪府枚方市 浄土宗)／檀王法林寺(京都府京都市左京区 浄

土宗)／潮音寺(東京都大島町 浄土宗)／超覚寺(広島県広島市中区 真宗大谷派)／長壽院(東京都台東区 浄土宗)／梅窓院(東京都港区 浄土宗)／法岸寺(静岡県静岡市清水区 浄土宗)／宝皇寺(北海道函館市 真宗大谷派)／寶松院(東京都港区 浄土宗)／宝泉寺(愛知県津島市 浄土宗西山禪林寺派)／法善寺(大阪府大阪市中央区 浄土宗)／法然院(京都府京都市左京区)／法華寺(京都府亀岡市 日蓮宗)／本覺寺(神奈川県横浜市鶴見区 天台宗)／無量光寺(鳥取県鳥取市 浄土宗)／薬師院(大阪府岸和田市 真言宗)／陽岳寺(東京都江東区 臨濟宗妙心寺派)／龍雲寺(東京都世田谷区 臨濟宗妙心寺派)／龍岸寺(京都府京都市下京区 浄土宗)／緑泉寺(東京都台東区 浄土真宗本願寺派)

一般社団法人 日本石材産業協会(東京都千代田区)／遠藤新兵衛商店(京都府京都市下京区)／学校法人 鎮西学園(熊本県熊本市中央区)／株式会社 アールアンドダブリュー(京都府京都市中京区)／株式会社 京美仏像(京都府京都市北区)／株式会社 薫寿堂(兵庫県神戸市)／株式会社 作島(京都府京都市下京区)／株式会社 ラベルサライ(大阪府大阪市中央区)／京都坊主BAR(京都府京都市中京区)／茶坊えにし(東京都台東区)／寺院コム(京都府京都市左京区)／大正大学(東京都豊島区)／浜屋株式会社(兵庫県姫路市)／ヨシダ印刷株式会社 京滋営業所(京都府京都市中京区) (五十音順)

フリースタイルな僧侶たちとは

●「仏教＝葬式」だとあなたは思っていますか？しかし、經典をひもといってみても、お葬式について語られていることはほとんどありません。そこには、「なぜ私たちの苦しみは起こるのか」「正しい知見を得るにはどうすればいいのか」といった「生きていくための教え」が多く説かれています。●人の心を狂わせる怖いものとして宗教が遠ざけられ、お葬式や法事は簡略化される傾向にある今日ですが、自分の弱い心にふたをして、やがてはおとずれる死から目を背けても、充実した人生はありえません。仏教の持つポテンシャルをうまく引き出し、自分自身に向き合うことによってこそ、これからの社会が確かに形づくられてくると私たちは信じています。●「フリースタイル」という言葉をかかげたのは、仏教の持つ2500年の伝統を敬いつつも、ゼロベースで日本仏教の未来を模索しようとする志のことです。●本誌フリーマガジンの発行(年間6回・偶数月1日発行)もまた、その試みのひとつです。街中のカフェやバーなどで手に取った瞬間に、安らぎや気づきがあることを願って発行しています。配布にご協力いただける店舗・施設を随時募集しています。●私たちは、30歳前後の若い僧侶たちが中心になって活動しているため、「仏教の再生」のつもりが、「伝統からの逸脱」につながることも

あるかもしれません。その際には、皆さまのご指摘をお待ちし、誤りについては改めながら大胆な試みを続けていくつもりです。これからの時代を生きやすいものにするため、ご協力をよろしくお願いいたします。●志を同じくする僧侶や誌面作りやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフもお待ちしています。まずは気軽にお問い合わせください。

サポーターズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、応援していただける方を大募集中

協賛年会費：5,000円(個人)／30,000円(法人)

サポーターズ・クラブの皆さまには、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また各種主催イベントにおいて優待いたします。法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先：三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 若林唯人

※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください

・Telでのお問い合わせ ☎050-5583-4330
・Faxでのお問い合わせ ☎050-3730-9864
・E-mailでのお問い合わせ info@freemonk.net

冬用 各宗派衣価格(税込)

● 布袍化繊地	18,800円より	● 黒直綴化繊地	27,000円より
● 改良衣化繊地	17,500円より	● 白衣テトロンウール	9,950円より
● 間衣化繊地	17,500円より	● 白衣高級メガーナ京仕立	16,800円より
● 黒衣化繊地	30,500円より	● 足袋	950円より

匠のお安いクリーニング お電話お待ちしております

法衣・袈裟製造直販

丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面上ル(西本願寺前店)

☎0120-075-024

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

http://r.gnavi.co.jp/k024400/

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側555番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております





浜屋は
関西最大級の
お仏壇・お仏具・
墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は
通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル
0120-1616-94
●受付時間/午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ■奈良王寺店 ☎(0745)31-2211代 | ■尼崎市役所前店 ☎(06)6414-3900代 |
| ■奈良生駒店 ☎(0743)83-2211代 | ■尼崎店 ☎(06)6413-2211代 |
| ■岸和田店 ☎(072)445-2211代 | ■宝塚店 ☎(0797)83-4500代 |
| ■堺鳳店 ☎(072)261-2211代 | ■西宮店 ☎(0798)51-2211代 |
| ■藤井寺店 ☎(072)954-2211代 | ■西宮駅前店 ☎(0798)34-2280代 |
| ■駒川店 ☎(06)6709-2211代 | ■芦屋店 ☎(0797)35-1194代 |
| ■八尾久宝寺店 ☎(072)925-2200代 | ■三田店 ☎(079)559-2211代 |
| ■中環東大飯店 ☎(06)6783-2211代 | ■神戸本店 ☎(078)371-2211代 |
| ■養屋川本店 ☎(072)829-2211代 | ■新長田店 ☎(078)621-2211代 |
| ■枚方家具園地 ☎(072)836-2211代 | ■明石店 ☎(078)927-2211代 |
| ■高槻店 ☎(072)683-2211代 | ■加古川店 ☎(079)426-2211代 |
| ■次木店 ☎(072)622-2211代 | ■高砂店 ☎(079)443-2211代 |
| ■箕面店 ☎(072)726-5522代 | ■姫路店 ☎(079)282-2211代 |
| ■豊中熊野店 ☎(06)6853-2220代 | ■福崎店 ☎(0790)22-2211代 |
| ■豊中店 ☎(06)6848-2211代 | ■網干店 ☎(079)272-2211代 |
| ■川西店 ☎(072)759-2201代 | ■龍野店 ☎(0791)62-2235代 |
| ■北伊丹店 ☎(072)780-5211代 | ■赤穂店 ☎(0791)45-2211代 |
| ■伊丹店 ☎(072)775-2211代 | ■山崎店 ☎(0790)62-5171代 |
| ■東園田店 ☎(06)4960-4000代 | ■山崎店 ☎(079)293-2211代 |

■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

**お寺の広報を
サポートします!!**

弊誌制作チームが、印刷物の「デザイン」からお寺を魅せるノウハウを提供します。お寺の想いを地域社会にスムーズに伝えようとするとき、洗練された「デザイン」はきっとその助けになります。興味を持たれた方は一度、お問い合わせください。

フリースタイルな僧侶たち編集部
Tel 050-5583-4330
Fax 050-3730-9864
info@freemonk.net

**「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」に
広告を出しませんか？**

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店まで、さまざまな場所に設置しています。設置箇所は現在も拡大中!! (ウェブサイトで確認できます)

興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

媒体情報

仕様：A4サイズ/12頁/カラー
発行部数：15,000部
(2015年8月現在)

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

心といのちの電話相談室

☎ **03-3436-6823**

相談受付: 毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしてください。

『心といのちの電話相談室』の特徴

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人浄土宗ともいき財団内
TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ: <http://tomoiki.jp>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン VOL.36
2015年8月1日発行

デザイン
梅本龍青 (NILOPALA)

マンガ
光澤裕顕

ロゴデザイン
しらたきなべお

総指揮・編集責任者
若林唯人

特集記事寄稿 (第36号)
渡邊元浄

表紙、P2-P5、P10 撮影: ACP 眞野慶太写真事務所

発行
フリースタイルな僧侶たち編集部
〒600-8305
京都府京都市下京区東若松町795-2 SOLUM 1F C号室
TEL 050-5583-4330
FAX 050-3730-9864
E-MAIL info@freemonk.net

www.freemonk.net

本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。